平成 28 年度事業報告

事業の概要

シルバー人材センターは、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進により、地域社会の活性化に貢献すること。また、生涯現役社会の実現についても、シルバー人材センターでは高齢者の「居場所」と「出番」をつくるとともに、会員が、支えられる側ではなく支える側として活躍できるよう取り組むとしております。

このことから、当センターでは「会員の拡大」と「就業機会の拡大」を最重点課題として、役職員や就業創出員を活用し、毎月の入会説明会への参加者の増を図ることや、就業機会の拡大として、公共施設、事業所、一般家庭へのシルバー事業の説明等への取り組みを行いました。また、センターの活動内容を広く理解いただくため、市の産業まつりに出店参加し、チラシの配布や会員の手作り作品の展示販売を行うなど、センター事業のアピールに努めました。その他、地域の高齢者や会員を対象とした生活環境の向上に向けた取り組みとして、「生活習慣病予防(脳卒中等)」健康講座、「生活習慣病予防対象料理・減塩料理」講習会を実施し、高齢者の介護予防に関する情報の提供に努めました。更に、平成 28 年度は、全国シルバー人材センター事業協会による事務指導、岩手労働局による経理指導が行われ、適正就業、経理等の分野についての指導があったことから、指導に基づく事業の推進に努めてきたところです。

以下、項目に沿って報告いたします。

1、会員拡大

入会説明会への参加者増に向け、センター独自のチラシを作成し、各地域への配布及び高齢者が集う施設への備え置きを行いました。また、市の産業まつりへの出店参加において、センターの事業内容の説明などを行い、入会者の確保に取り組みました。この結果、年度末の会員数は、前年度と比べ 7 人増加の 339 人となりました。

地域別入退会状況

	今年度末	入会者	退会者	前年度末	増減
宮古地区	305 人	34 人	31 人	302 人	3 人
田老地区	12 人	0 人	0 人	12 人	－
新里地区	11 人	3 人	1 人	9 人	2 人
川井地区	11 人	2 人	0 人	9 人	2 人
合計	339 人	39 人	32 人	332 人	7 人

2、就業機会の拡大

就業機会の拡大については、受注獲得に向け、シルバー人材センター事業の理解を深めていただくため、役職員・就業創出員の活用により公共施設、事業所、一般家庭などを訪問し、センターへの発注について理解と協力を求め、就業機会の拡大に努めました。

その結果、前年度を上回る契約金額となりました。

3、安全対策の強化

シルバー人材センター事業の基本は「安全就業の確保」であることから、県内センターの事故等について、センター会報に掲載し注意を促す他、安全・適正就業対策推進委員会による安全就業の周知について、下記のとおり取り組みました。

① 全国一斉「安全スローガン」の掲示(7 月 1 日～7 月 31 日)
② 就業現場安全パトロールの実施　3 回
③ 就業会員による作業前の安全確認の実施
④ 安全就業及び交通安全に関する安全講習会の実施　1 回

4、介護予防事業

地域の高齢者及び会員を対象とした講習会を実施し、介護予防に関する情報の提供に努めました。

① 「生活習慣病予防(脳卒中等)」健康講座
　参加者　19 名　(一般参加 2 名、会員 17 名)
② 「生活習慣病予防対象料理・減塩料理」講習会
　参加者　22 名　(一般参加 3 名、会員 19 名)

5、ふるさと環境支援事業

所有者が遠方に居住している、又は、高齢者世帯が高齢などの理由により管理できないことによる空き家や墓地について、その状況を所有者への報告を行い、所有者の依頼に応じて、簡易な修繕や環境整備などを行う事業でありますが、今年度の受注状況として墓地清掃に関する依頼が多数寄せられたことから、これに対応するため、次年度においても就業会員の確保が課題となっています。

6、就業技能の向上

会員の就業機会の拡大を図るため、センター主催の講習会の実施及び県シ連主催の講習等への参加を呼びかけ取り組みました。

① 草刈り機使用講習会
参加者　9名
② 襖・障子張替講習会
参加者　12名
③ 県シ連主催、接遇マナー講習
参加者　10名

7、調査研究

シルバー人材センターの行っている受託業務について、作業状況に関する発注者の評価を集め事業の参考とするため、発注者へのアンケート調査を実施しました。結果については、大多数の発注者において好評価を得ていたところであります。しかしながら、少数ではありましたが、作業の仕上がりについての意見もあったところです。これについては、シルバー人材センター事業の質の向上に向け、各会員の協力を得ながら取り組んでいきたいと考えております。

8、普及啓発活動

シルバー人材センター事業の紹介と会員の加入促進に向け、下記の活動を行い普及啓発に取り組みました。

① チラシを作成し、公共施設、事業所、一般家庭への配布、高齢者が集う施設へのチラシの備付
② センターホームページの活用
③ 宮古市産業まつりへの出店参加
④ テレビ岩手24時間テレビにおける清掃ボランティア参加
⑤ IBCラジオ放送への生出演及びCM収録による宣伝活動

9、職業紹介事業

臨時的、短期的、又は軽易な業務に係る仕事を、地域の高齢者を対象に行う職業紹介による就業機会の提供については、今年度該当はありませんでした。

10、会員組織の強化、諸会議の開催

センター事業を円滑に推進するには会員同士の連携が必要であることから、植木剪定、襖・障子張替、草取り、機械除草などの作業単位のグループを活用し、受注作業を効率的に進めることに取り組みました。

11、一般労働者派遣事業

臨時的、短期的、又は軽易な業務に係る、岩手県シルバー人材センター連合会を派遣元とする、一般労働者派遣事業の実施事務所として、会員を対象とするシルバー派遣事業による就業機会の提供を行いました。

実施状況

	今年度	前年度	増減
派遣登録会員数	20 人	18 人	2 人
派遣受注件数	14 件	10 件	4 件
派遣就業延日人員	636 人日	480 人日	156 人日

12、宮古市学童の家の運営

市から指定管理を受け運営している「宮古学童の家」、「山口学童の家」、「千徳学童の家」、「鍬ヶ崎学童の家」、「磯鶏学童の家」、「田老学童の家」については、保護者が安心して仕事ができるよう施設の安全管理・有効利用に取り組んだところです。又、児童・保護者と接する指導員の研修等を積極的に行い、380 余名の児童の健全育成と保護に努めました。